

2025年12月11日

2025年11月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参・金融関連以外のスポット案件が少なく、昨年を下回る販売量となり、在庫量が増加した。

巻取についてもスポット案件が低調に終わり、昨年を下回る販売量となった。

（前年比 平判 92.1%・巻取 93.8%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を下回った。

再生紙巻取は広報誌関係の定期案件に加え、スポット案件が堅調に推移し、前年を大きく上回った。

（前年比 平判 92.7%・巻取 135.8% 再生上質計 116.0%）

再生紙巻取が大きく数字を伸ばすも、印刷用紙 A 全体としては昨年を下回る結果となった。

（印刷用紙 A 全体前年比 92.5%）

<A2 コート>

平判は、インバウンド需要は堅調に高水準が続いているが、商印関連の印刷物は減少傾向が続いている。

雑誌関連はページ減、部数減、廃刊の動きが続いており、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

巻取は、宅配、スーパー、コンビニ、家電量販店等のチラシで一部動きがみられたが、不動産関連チラシ、カタログ、雑誌等においては落ち込みが続いており、グロスは前年を大幅に下回ったが、マットは前年を上回った。

（前年比 平判 91.8% 巻取 97.8% 全体 92.7%）

<A3 コート>

宅配、スーパー、ドラッグストア、家電量販店等のチラシ、イベント関連のスポットチラシで動きがみられたが、学習塾、不動産関連チラシ、カタログパンフの落ち込みは続いている。巻取は昨年大きく落ち込んだ反動もあり前年を上回ったが、平判は前年を下回った。

（前年比 平判 96.5% 巻取 107.6% 全体 103.3%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融系手書き帳票の動きは見られたものの全体的に動きが乏しく前年を大幅に下回った。

巻取は民間の動きが低調なもの、損保系帳票で一部動きがあり、前年大幅減の反動もあり前年を上回った。

（前年比 平判 82.2% 巻取 104.6%）

<上質フォーム>

資格確認書や資格情報のお知らせ等、前年スポット案件があった反動で大幅に下回った。

(前年比 86.9%)

<包装用紙>

片艶晒は株式用封筒が好調で昨年を上回ったが、その他の銘柄は特に目立った案件も無く昨年を下回った。純白ロールは大型商業施設、スーパーマーケット向けが堅調で、御年賀関連の包装紙の動きも見られたが、昨年の数字は下回った。

包装紙全体でも 91.4%と前年を下回った

(前年比 91.4%)

<板紙>

コートボールは引き続き物価高の影響で、日用品や食品関係をはじめ、冬物の季節商品も低調であった。特板においては中国向けの化粧品関係が低調。

高板はトレーディングカード関係が安定して好調であったものの、POP や什器関係といった商印分野が低調であった。

チップボールは、資材関係、貼り箱、出版向け各分野で低調。

全体としては全般的な需要の減退と、高板において前月見られた価格修正に向けての積み増しの反動で、前年を下回る結果となった。

(前年比 89.8%)